

八潮幼稚園で目指す保育理念

(学)八潮会 八潮幼稚園 園長:豊島呈次

幼児教育は、人づくりの基礎を育むうえで最も大切な時期と言えます。子どもたちの将来は幼児教育にかかっているといっても過言ではありません。幼児期は、将来の人間関係や社会性の礎になる・協調性、忍耐力、問題解決力など、社会に必要な力の多くが芽生えます。私たちは責任をもってこの幼児期に園児1人1人がたくましい心を持った将来の社会を支える「人づくり」に取り組んでまいります。幼稚園生活ではトラブルも経験し、興味関心のあることを探究する意欲を育ててまいります。これらの活動を通して子どもたちは著しく成長していきます。重点目標を「かしこくやさしくたくましい子の育成」として取り組んでいきます。

幼児期は「脳の黄金期」

人間の脳は3歳までに約80% 6歳までに約90%が完成、その中での教育環境が、子どもの言語能力や論理的思考力、さらには感情のコントロール能力にも影響します。

ロボットではできない豊かな感性を育て、自ら考え正しく判断し行動し好ましい人間関係作りができる資質能力を育ててまいります。

人との関わりやルールを学ぶ場

この時期に経験する言葉、感情、人との関わりは、脳の発達に影響される。

「できた!」という成功体験が、子どもたちの自信と自己肯定感を高めます。集団ならではの約束や決まり事を学び、人との関わり方を学んでいきます。

そのために各クラス2名の優秀な教職員を配置し1人1人を決め細かく指導しています。

「遊び」は、学びの基本

生涯にわたる学びの土台づくり。
観察力・集中力・創造性が育つ、就学後の学力や学習意欲に大きな影響を与えます。

遊びから非認知能力の「規範意識」「優しさ」「主体性」「自主性」を育て、子供たちが1つ1つの目標に向かって主体的に取り組む力を付けてまいります。

家庭との連携で効果が倍増

保護者の関わりや声かけが、子どもの学びに安心感と深まりを与えます。

園と家庭と一緒に子どもを育てることで、より豊かな教育が実現できるので。

• 父母の会について

幼稚園と保護者が車の両輪として園児の安全と成長を支援する体制。
父母役員会に園長・主幹が出席し、風通しの良い幼稚園を目指しています。
情報を共有して幼稚園の現状と保護者の願いを受け止め 園児のための最善策を考えています。

• 保育の見える化

日常の園児の成長が見える活動の重視 (ホームページ インスタグラム 誕生日会)

• 満3歳 (蕾組) について (定員8名)

満3歳児のお友達だけで編成されるクラスとなります。時期を見て異年齢児と交流します。3歳の誕生日を迎えた翌日から幼稚園児として入園。(保育料無償化の対象)
次年度の4月を待たず通常よりも早く幼稚園生活にはやく慣れ4月の入園式に参加し花組になります。

• [感染症等防止対策] (新しい感染症)

手洗い・うがい・空調 (外気の入れ替え=常時)
紫外線殺菌機 (コロナウイルス99.9%除菌) 時差登園・降園 (1日の様子の報告)

• 事故・事件等の安全対策

正門の園長の見守り体制。
AED研修/不審者対応/さすまた研修会/通報訓練/交通安全教室

